

白浜レスキューネットワーク通信 10～1月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

10月1日～10月31日

保護件数 7件(男性 4名、女性 3名)

自立件数 2件(男性 1名、女性 1名)

帰宅件数 5件(男性 2名、女性 3名)

共同生活者数 14人(男性 10人、女性 4人)

○4月から滞在していた夫婦が、元の生業に再起していった。

○4日、三段壁をパトロールしている方が、男性を保護し連れて来てくれた。

○14日、女性を保護。

○14日、相談を受けていた大阪在住の男性が、和歌山県内の警備会社に就職を決めた。こちらで生活しながら仕事に行くことに。

○17日、男性を保護。

○20日、行政からの依頼で、女性を保護。

○22日、男性を保護。

○27日、女性を保護。

11月1日～11月30日

保護件数 0件

自立件数 1件(男性 1名)

帰宅件数 1件(男性 1名)

共同生活者数 12人(男性 8人、女性 4人)

○4日、5年前に保護した男性が、自立後に結婚した奥様を連れて訪ねて来てくれた。

○6日、以前から相談を受けていた女性が訪ねて来てくれた。

○10月22日に保護した男性が帰宅。

○30日、男性が自立。

12月1日～12月31日

保護件数 2件(男性 1名、小学生 1名)

帰宅者数 1名(男性 1名)

共同生活者数 13人

(男性 8人、女性 4人、小学生 1名)

○NPOの学生寮で小学6年生を預かることになった。

○大学生の男性を保護。コロナ渦にあって、大学生生活が思うようにいかない中、目標などを失い、精神的に病み始めたようだ。

1月1日～1月31日

保護件数 5件

(男性 3名、女性 4名、幼児 1名)

自立件数 0件

帰宅件数 4件

(男性 2名、女性 4名、幼児 1名)

共同生活者数 14人

(男性 9人、女性 4人、小学生 1名)

○4日、親子を保護。翌日帰った。

○13日、女性を保護。父親からの暴力に悩む。

○13日、女性を保護。性同一性障害で悩む。

15日に帰宅。

○16日、男性を保護。昨年8月から仕事ができなくなり生活できなくなった。車のローンやカードローン、光熱水費や家賃の滞納など。

○17日、母子と祖母の3人を保護。夫婦関係や子育てで悩む。精神的にも病んでいて病院にかかることを勧める。19日、祖母と子どもは自宅に帰り、母は白浜に残り一人ゆっくりすることに。31日帰宅。

生活自立支援活動

○デイサービスやショートステイなどを利用しながら共同生活を続けている男性は、寒くなってくると体の動きが悪くなってくる。食欲は旺盛。ショートステイ、デイサービス、ヘルパ

一などの支援を受けながら暮らしている。

○警備会社に就職し共同生活に加わった男性は、辞めずに3カ月勤め続けてきたが、もう一度大阪に戻ってやり直したいと言ってきた。体力も回復し自信も取り戻したと言うが、賛成し兼ねる。

○50代女性は、精神的に弱く気分が左右されることも多く、仕事にも影響が出る。感情的に爆発して泣き叫ぶこともあり、他の共同生活者から距離を取られてしまうことも起きている。自分が蒔いている種なので、刈り取るしかないのだが、本人の被害者意識が邪魔をして自分の問題として改善へと向かって行きづらい状況だ。

○新聞配達をしている50代男性も、気分がむらがあり、すぐに全部やめてしまう選択をしようとする。破壊的だ。その都度時間をかけ話をし思い止まらせ、続けていくことを選ばせている。

○まちなかキッチンで働く40代男性は、運営側に回れるように訓練し始めている。エジソンハウス2階の部屋からシェアハウスへ移る。

○まちなかキッチンで働く30代男性も、40代男性と共に、運営側に回れるように訓練が始まった。両者とも意識を変えるところから始めている。アパート2階の部屋からシェアハウスへ移る。

○通信高校3年の男性は、3月13日卒業見込み。就職先が決まったことから、これまで預かっていたスマホを返し、適度な使用を身に付けていくために訓練し教えている。

○5月に保護した40代男性は、まちなかキッチンで働くようになりがんばっている。返事や礼儀正しい言葉遣いや物腰の柔らかさなどはいいのだが、表面的に感じさせることもあるようだ。うさん臭さや、裏表があるように感じさせてしまってはマイナスだ。

○まちなか惣菜で働く50代女性は、ずいぶんと精神的に落ち着いている。気持ちが楽になったと本人も言っている。

○まちなかキッチンとコンビニをかけもちしている20代女性は、シェアハウスから教会隣のアパートへ移る。

○10月に保護した男性は、まちなかキッチンで

働き始めた。

○10月に保護した女性は、出て来た会社の寮の荷物を整理し、共同生活に加わった。失業保険の手続きを始めた。就職面接に行ったり履歴書を送ったりしたが就職できず、まちなかキッチンで手伝いを始めた。

自殺予防活動

・フードバンク、フードドライブ

グルメシティの白浜店様、新庄店様、東陽店様、明洋店様、万呂店様、御坊店様、ショッピングセンター様のご協力に感謝。

また多数の方から、食料品(お米、野菜、缶詰、おもち、ケーキ、パンなど)の提供を頂き感謝。

・明誠高校和歌山白浜SHIP(定時制高校)

3月13日(日)午後から卒業式を予定している。新年度の入学希望者を募集中。現在3名が入学を検討してくれている。

英語や音楽の授業の視察や体験に生徒や先生方が来てくださっている。

コペルくんの会場や学生寮として使っているエジソンハウスが老朽化しているので、修繕や建て替えが必要な状況。費用の工面を考えていかなければならない。

・コペルくん活動

スタッフが休暇を取り帰国している間、理事長が担当している。

・少年少女漂流隊

第一小学校のクラブ活動において、副理事長が講師となり、はじめ人間自然塾の出前版を行っている。

・農業

現在、まちなかキッチンの裏山と、富田にあるビニールハウスで季節の野菜を栽培している。富田で作っている小松菜、ほうれん草などは、まちなかキッチン、Aコープあぜみちへ出荷している。

白浜教会の会員やボランティアの方々も一緒に農作業をしてくださっている。